



# 金属異物除去用の内視鏡 マグネット鉗子

中村 守彦(地域未来協創本部)  
三代 剛, 木下 芳一(医学部)

本研究に関連する特許  
1)特開2016-198405

## 【概要】

ボタン電池など金属異物が長時間消化管内に停留すると壁穿孔を来し、場合によっては致死状況となるため早急な回収を必要とする。特に食後、胃内の金属異物を把持回収するのは極めて困難であるが、内視鏡マグネット把持鉗子により容易に除去できる。

## 優れた把持鉗子力



従来法

新技術



マグネットチューブ  
除去時間:約 2時間



マグネット鉗子  
除去時間:約 20分

小児救急医療の質向上!

## マグネット鉗子の優位性

(1) 消化管内の金属異物, 特にボタン電池を非常に簡便かつ正確に除去できる。



(2) メーカーを問わず消化管内視鏡に搭載可能。



(3) 永久磁石または電磁式のマグネット鉗子が適用できる。

(4) 様々な形状の鉗子部を利用できる。



## 【応用例】

- ・消化管内視鏡への搭載
- ・遠隔操作を必要とする工業分野での利用

【研究シーズ, 特許に関するお問い合わせ先】

島根大学 地域未来協創本部 地域医学共同研究部門

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町223-8

電話:0853-20-2912 FAX:0853-20-2913 電子メール:cmrc@med.shimane-u.ac.jp